

---

---

## 調査の概要

### 1 調査の目的

本調査は、内閣府青年国際交流事業に参加した人、他の国際交流事業に参加した人、国際交流未経験者から国際交流事業に関する意見を聞くことにより、内閣府に設置した「青年国際交流事業に関する効果測定・評価に関する検討会」における審議の参考資料とするために、日本青年国際交流機構（IYEO）の協力を得て実施するものである。

### 2 調査の設計

#### (1) アンケート調査

調査時期：平成 26 年 6 月

調査対象： 内閣府青年国際交流事業参加者  
他の国際交流事業参加者  
国際交流未経験者

調査方法： 調査対象の内閣府青年国際交流事業参加者全員に対して、封書で調査の実施について案内。封書中の書面に記載した URL にアクセスしてもらい、WEB アンケートの回答を依頼。

WEB モニターからスクリーニング調査によって、該当する調査対象者を選定し、WEB アンケートの回答を依頼

回収結果： 内閣府青年国際交流事業参加者 1,075 名（3,022 件配布、回収率 35.6%）  
他の国際交流事業参加者 400 名  
国際交流未経験者 400 名

#### (2) ヒアリング調査

調査対象：内閣府青年国際交流事業参加者 8 名（20 歳代 2 名、30 歳代以上 6 名）

- ・アンケート調査でヒアリング協力可能と回答した者から、自由記述内容から確認されるキャリア発現の状況を考慮して選定
  - ・世界青年の船事業参加者（30 日以上） 4 名
  - ・東南アジア青年の船事業参加者（14 日以上） 4 名

### 3 調査の内容

- ・回答者の状況
- ・国際交流事業への参加の状況
- ・国際交流事業への参加に際しての経験と人生、キャリア等への影響
- ・事業参加後の事後活動の状況
- ・社会貢献活動やキャリアの状況
- ・スキルの保有・開発の状況